



団体戦に挑戦！
これからの楽しみ



木村 Kimura Junichi 純一さん 西当別剣道少年団

西当別剣道少年団 4年目

毎週火曜日、金曜日の夜は西当別コミュニティセンターに大きな掛声が響く。西当別剣道少年団 15名が小さな体に道着と防具を纏い、真剣な表情で竹刀の面打ちの稽古に励んでいます。

剣道しか思い浮かばなかったですね。社会人になって13年が経過し、仕事以外に「何かしなければ」と考えた時は。道南は江差町の出身で、小学校6年生のとき、江差警察署の刑事さんが剣道を教えていると聞き、友人と二人で通い始めました。中学生の頃、少年団ができ、高校まで続けましたが、就職後は13年間ブランクでした。当別に移り住むと剣道を続けるにはとても良い環境で会社員、学校の先生、消

防士、道職員など社会人の皆さんが熱心に稽古をしておられました。剣道連盟では少年団に指導者を派遣しているのですが、太美地区に少年団がなく当別へ通っている子がいたため、4年前、太美に少年団を設立しました。当時幼稚園児だった子も今4年生になりました。これからの楽しみです。まだ、出来立ての少年団ですが、**礼法**はしっかり教えます。稽古着や防具は、決められた手順でたたまなければ長持ちしません。せっかく親に買ってもらったものですから、大事に使うことを教えています。動きでは基本動作が大切です。例えば、「左足から座り、右足から立つ」といった体の運びです。私は面打ちの稽古を重視していますが、竹刀を持つ右手と左手の力を一つにし、両手のバランスを一致させ打

ち込むのは簡単なことではありません。剣道では「気」「剣」「体」の一致と表します。すべての指導者はこれを目標としています。

目標は全ての学年で団体戦に出場できるようになること。それには小学生から中学生までの各学年5人、合計45人の少年団にすることですね。いつでも剣士募集中です。一度見学に来てください。

(6月7日取材)

木村純一（剣道5段 札幌の土木会社に勤める54歳 太美町在住）

西当別剣道少年団
練習日（夏季）火・金曜日 西当別コミュニティセンター〈午後7時から〉土曜日 西当別小学校体育館〈午前9時30分から〉 募集学年は幼稚園年中から